

まちかど アルバム

青谷町青谷

菖蒲綱引きで、いざ勝負

6月3日(土)、青谷町青谷の駅前区町内会で「因幡の菖蒲綱引き」が行われました。はちまきを締めた子どもたちが、カヤやヨモギ、ショウブで編まれた綱を持って家々の前で「ワッショイ、ワッショイ」と元気な声をあげたあと、男女に分かれて綱を引き合いました。この菖蒲綱引きは、駅前区のほかにも青谷地域で9地区、また、気高町宝木・水尻でも伝承されている端午の節句の行事で、昭和62年に国の重要無形民俗文化財に指定されています。最近では子どもの数が減り、綱を引くのに十分な人数が揃にくい状況ですが、歴史と伝統のあるこの菖蒲綱引きを子どもたちに伝えようと、地域ぐるみの取り組みが行われています。



じゅうぼう
鷲峰山

用瀬地域

まちの魅力を再発見

6月11日(日)、上方往来街並活用推進委員会のみなさんが、用瀬の埋もれた観光資源を発掘しようと用瀬地域を歩いて回りました。普段は車で通り過ぎてしまう街の中を歩いてみることで、今は使用されずにしまわれていた水車など、多くの発見がありました。今後は、こうした資源を生かした観光ルートの開発などに取り組んでいきたいとのこと。



自然を満喫 鷲峰登山

6月10日(土)、鹿野町中央公民館と「鹿の助スポーツクラブ」の共催による鷲峰山(標高921[㍎])登山が行われました。参加者は家族連れや気の合う仲間など約30人。鹿野町運動広場を出発し、古仏谷登山道を通り、思い思いに自然を満喫しながら、全員が正午頃に山頂に到着しました。山頂の展望台では、眼下に広がる日本海や湖山池などの景色を楽しみながらの昼食を。参加者の1人は「山野草を楽しみながらゆっくりと登山できたので、とても楽しかったです。また機会があれば登ってみたい」と心地よい汗を流しながら話していました。



多鯰ヶ池

涼しさ誘う、水上の美人

鳥取砂丘のそばにある多鯰ヶ池の南側、およそ1500平方[㍎]の水面で、淡いピンク色のスイレンの花が満開となり、見ごろを迎えています。近くで見るスイレンはかれんで、涼しさを誘っています。花が開いているのは午前中で昼からは閉じてしまいます。9月頃まで見ることができますので、自然を満喫しホッとできるこのスポットに、みなさんもぜひ、お立ち寄りください。